

TOTO

洗面器用洗髪機能付シングルレバー混合栓

TL386型

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△ 注意の表示によってお知らせしています。

△ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

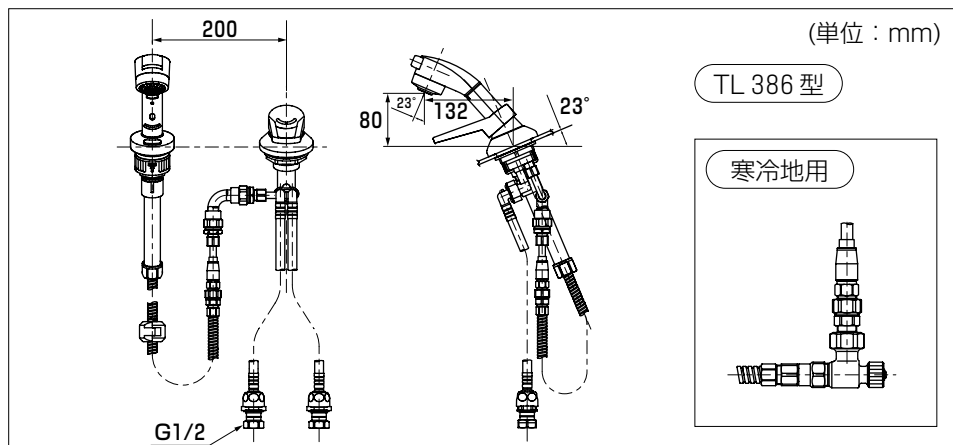
△ 注意

(1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

(2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完 成 図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



付属部品明細

	名 称	数 量
1	施工説明書	1 枚
2	取扱説明書 (保証書付)	1 冊
3	ストッパー	1 個

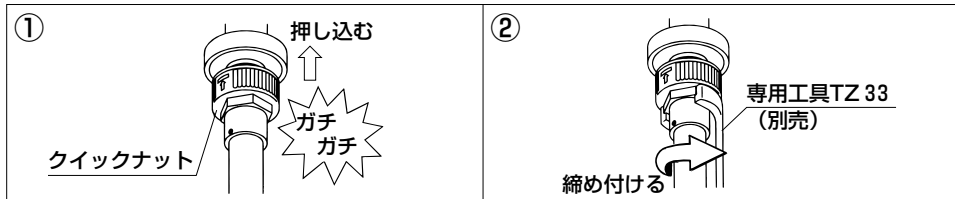
仕 様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度	給水 (清水)	35℃以下
	給湯	85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用 途		一般住宅洗面所用

取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は、クイックナット、ホース接続ワンタッチカプラーおよびワンタッチソケットを採用しています。

1.クイックナット



2.給水・給湯ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

注意

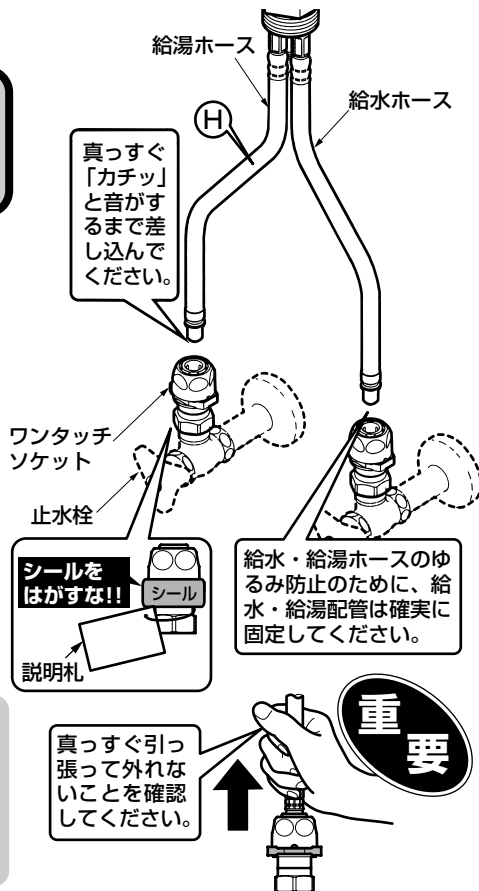
ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。そのままでもホースを差し込めます。

②給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットに真っすぐ奥まで（「カチッ」と音がするまで）確実に差し込む。確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。

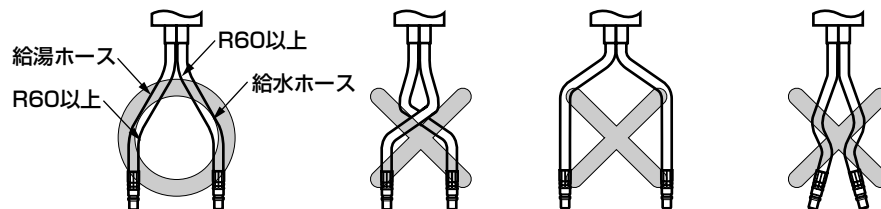
③ホースを真っすぐ引っ張って外れない（抜けない）ことを必ず確認する。

施工後、万一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



3.シャワーホースの取付け

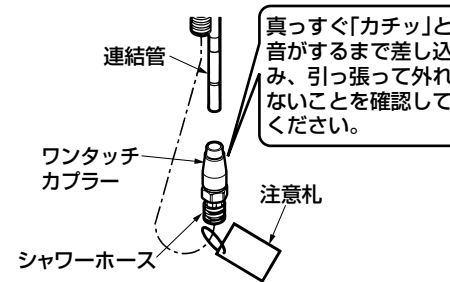
一般地用の場合

ワンタッチカプラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで真っすぐ差し込む。

注意

異物の付着がないことを確認してください。

この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカプラー」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。



取り付け後の確認

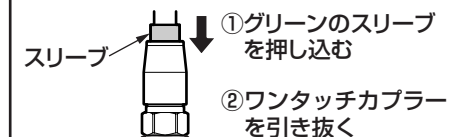
重要

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること



<ワンタッチカプラーを取り外す場合>

- ①グリーンのスリーブを押し込む
- ②ワンタッチカプラーを引き抜く



器具の取付け

寒冷地用の場合

- ①シャワーホースを水抜栓に接続する。
- ②連結管にフックを通す。

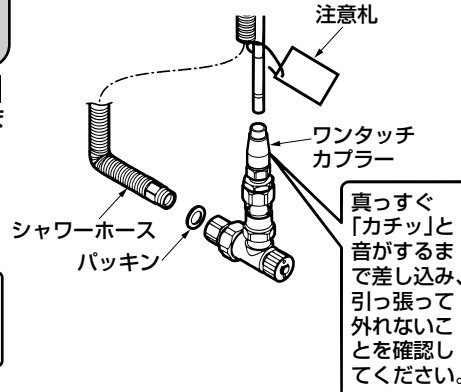
注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 異物の付着がないことを確認してください。

- ③ワンタッチカプラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで「真っすぐ」差し込む。

- ④フックを本体側水抜コックに取り付ける。

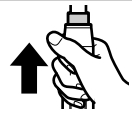
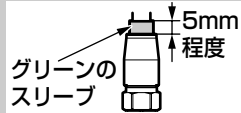
この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカプラー」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。



重要

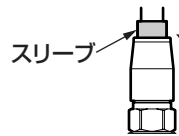
取り付け後の確認

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること



<ワンタッチカプラーを取り外す場合>

- ①グリーンのスリーブを押し込む
- ②ワンタッチカプラーを引き抜く

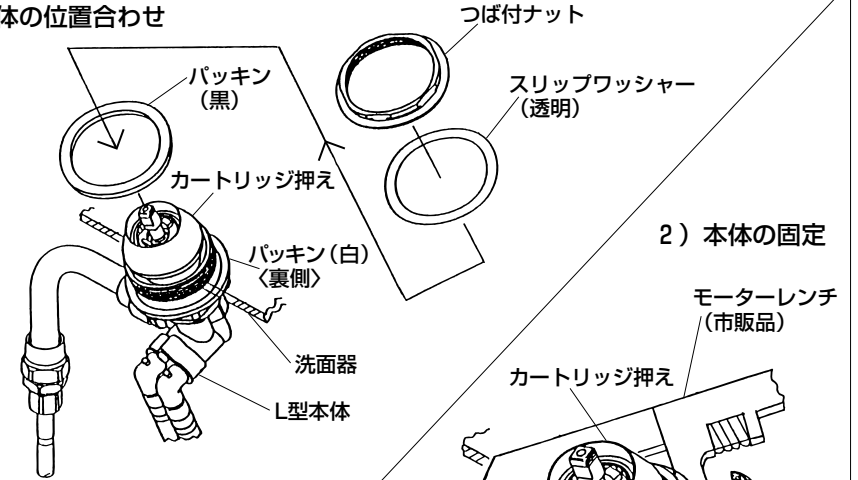


1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 本体の取付け

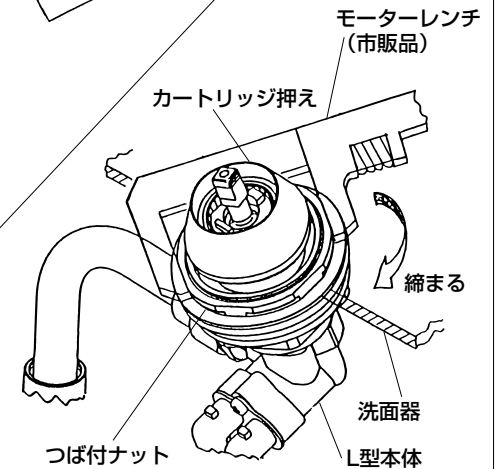
1) 本体の位置合わせ



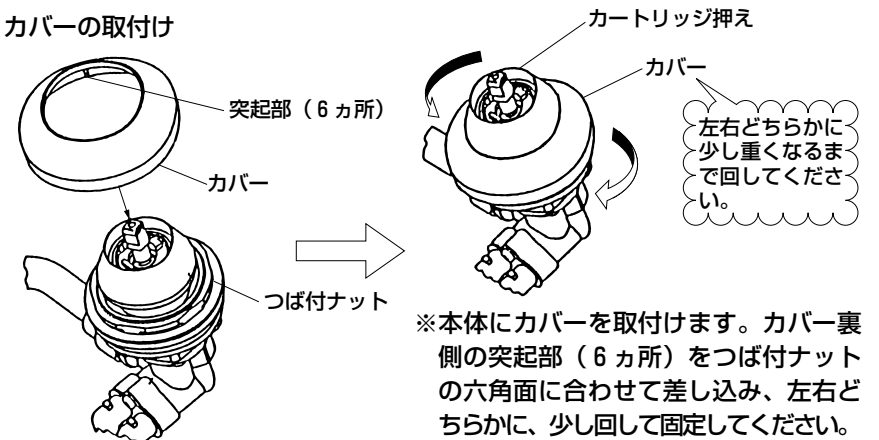
※L型本体をパネル裏側より挿入しL型本体のL部分が手前に来るようにする。

※共回りに注意して締め付けてください。

2) 本体の固定

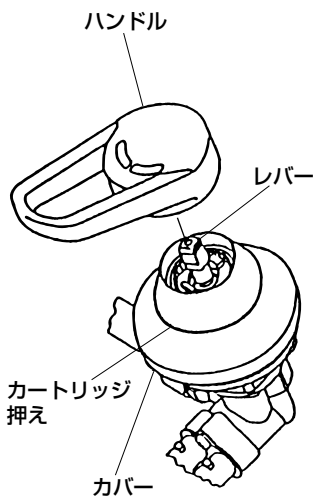


3) カバーの取付け



※本体にカバーを取付けます。カバー裏側の突起部(6カ所)をつば付ナットの六角面に合わせて差し込み、左右どちらかに、少し回して固定してください。

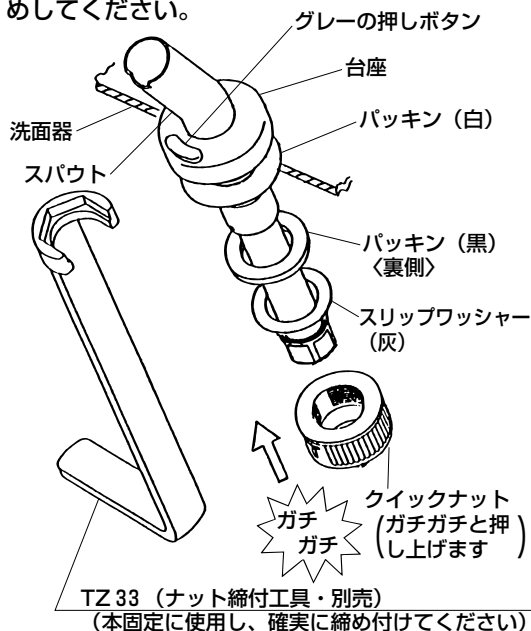
4) ハンドルの取付け



※ 取付方法は同紙面上の「**レバーハンドル取付要領**」を参照してください。

3. ハンドシャワー支持部の取付け

※ グレーの押しボタンが正面になるように位置決めしてください。

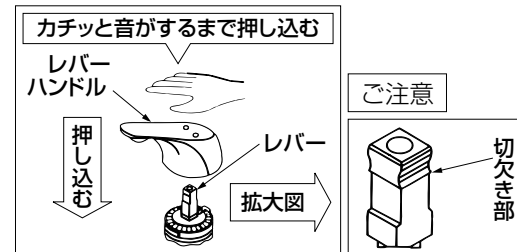


TZ 33 (ナット締め付具・別売)
(本固定に使用し、確実に締め付けてください)

レバーハンドルの取付け要領

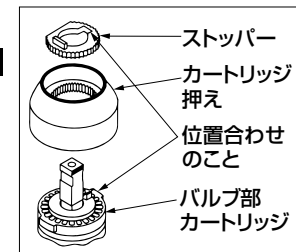
このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

レバーハンドルとレバーの切欠きとの**方向性に注意**してください。正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。



点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、**工具は使用しない**でください。再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。

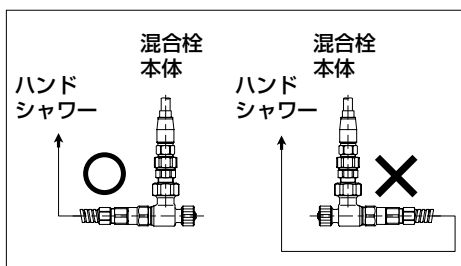


寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜き栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしてください。またお客様にも水抜き方法をご指導ください。

- (1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
- (2)ホース途中の水抜きコックを開いてください。
- (3)スパウトを上引き上げ、ホース内の水を抜き、さらにハンドシャワーを振って中の水を抜いてください。

寒冷地用の場合は、シャワーホースの水抜きコックの取付け方向に注意してください。また、水抜きコックにシャワーホースを締め付けた後、ワンタッチカブラーをホース接続管に挿入してください。



使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。レバーハンドルを速く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、**絶対に分解しない**でください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快適にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. ふだんは柔らかい布でふいてください。
2. スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。又、支柱部に油、オイル等は絶対につけないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

※ 同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。